

第33回支部総会

# 社会保障改悪の反対世論を

淡路支部ニュース

2011.6.25  
No. 271

兵庫県保険医協会  
淡路支部  
〒656-0601 洲本市物部三丁目44  
松本医院内  
☎079-912-1007



記念講演では神戸大学病院の杉本庸先生が講演  
(五月二十八日・洲本市内、報道2面)

## Let's...

六・七月はもともと、公私行事多く多忙の月。今年には加えて東日本震災による三、四月行事の繰り延べ。さらにアナログ放送の終焉と、大変

のようである。

協会・医師会の総会をはじめ諸団体の総会。個人的だが三日は六十余年前地雷に飛ばされて九死に一生を得た日。さらにその四年前、中学二浪を覚悟していたところへ新設医専への入学式が九日、そして二十八日は四年間の軍務を終えた帰還船上から故国の山(鹿児島)を見る感激の日等(割愛)。時の記念日や父の日は問題外。そして七月二十四日!

私は昭和四十二年に開業するまではTVも適当に見ていたが、開業・分院・手書きレ

セプト・医師会や学会そして協会の役員や医院就任が原因の一端で、ほとんどテレビは見なくなり、ラジオは一時は枕頭に六台置く(一台一局のため)時代もあった。平成になつてからはNHK深夜便のファンとなる…。

最近のテレビはワアーワアーキヤーカー、視聴者放つとけで出演者が楽しんでる? テレビが殺人・泥棒の口を教えている感?

チョッと見ると本当のニュースかドラマのワンシーンかわからない時も:そして「想定外」が大流行。どうなる日本と言いたいところ。私の友人の中に、テレビをやめようという人もかなり:私も天気予報以外は不必要。となると、今のテレビの始末は? ただの箱より難かしいだけに:「ナントカならんかなあ」へバツク!

「松本記」

## 淡路支部総会・記念講演

淡路支部は五月二十八日に洲本市健康福祉館で、第三十三回支部総会を開催。議事では高田裕支部長の再任と、副支部長に粟田哲司、児玉和也両先生を、新幹事に大橋明、友清龍一郎両先生を選出した。記念講演「神戸大学美容外科のアンチエイジング医療への取り組みく美容治療の現況」(講師は神戸大学大学院医学研究科美容医科学講座特命准教授の杉本庸先生)には、医師・歯科医師やスタッフなど二十人が参加した。参加者の感想文を紹介する。

### 感想文

## 美容治療の現況と アンチエイジング

淡路支部第三十三回総会の後、記念講演として「神戸大学美容外科の現況と美容治療を取り巻く諸問題」について杉本庸先生にお話しいただきました。

「顔じゃないよ心だよ」と言いつつ、見かけの良い人は就職、収入、結婚に有利である世の中。人は美を追求し、他人によく見られようと化粧をしたり、若づくり

したりします。

そのため、巷には美容に関する広告があふれ、キャンペーン価格とか誇大広告で患者を釣り、まやかしの治療が行われていることもまれではありません。

そのような現状のなか、正当な美容治療を広めるため、二〇〇七年に神戸大学付属病院に美容外科が開設されました。

総論では、美容治療の問題点として、教育システム、美容外科学会の問題、広告の問題、患者への教育などについて解説していただきました。よく耳にする「美容整形」というのは間違いで、美容外科が正式な名称です。また「形成外科は元に戻す」「美容外科は正常なものを作り美しくなおす」という説

明は分かりやすかったです。美容外科で言うアンチエイジングとは主に、しみ、しわ、たるみの治療で、見た目の若返りと理解しました。

各論では、それぞれについて最新の治療を含めて詳しく解説していただきました。特に、しわの治療では、安価だからといって非吸収性の注入剤を使用された場合は、トラブルが起こると修復が大変難しくなるといふ話に驚きました。

現在の日本の状況では、違法な美容に関する広告や、承認されていない治療を行う施設を取り締まることができません。広告に流されずに、エビデンスに基づいた治療を行う施設を選択することが大切だと感じました。【淡路市 粟田 哲司】



## 職員接遇研修会を開催 信頼関係を築くコミュニケーション能力の向上

5月21日、洲本市健康福祉館にて

淡路支部は五月二十一日に洲本市健康福祉館で、職員接遇研修会「信頼関係を築くコミュニケーション能力の向上」(講師は目白大学短期大学部生活科学科教授・油谷純子先生)を開催、四十一人が参加した。参加者アンケートの一部を紹介する。

### 〈参加者アンケートより〉

- ・電話応対が苦手ですが、今日教えていただいたことを参考にしたいと思う。(歯科衛生士)
- ・言葉の発音の聞き取り、方法がためになりました。(薬剤師)
- ・相手の立場を考えて、話しかけるように気をつけたいです。(事務)
- ・接遇で大事なことは、態度(表情、姿勢、動作)であり、それぞれに対して詳しく説明していただき、わかりやす

かった。(看護師)

- ・日常業務に追われて見過ごしてしまいがちな点を数々指摘され、これではいけないと感じ反省しました。(介護)
- ・信頼を得るのはすごく難しく、コミュニケーションを図る場合、相手の立場に立ち、相手の表情を読みとることを心がけようと思いました。接遇は、して当たり前と思わず、一つずつ技術をマスターしたいです。(介護助手)
- ・普段考え悩むことがありましたが、本日勉強した内容が、悩んだりしたことに対処できそうです。職場での勉強会がありますので、本日の内容をきちんと伝えられるかわかりませんが、報告し、実践していきたいです。ありがとうございます。(看護師)
- ・受付する時の応対の仕方、電話の応対の仕方、注意しないといけないと思いました。相手の

立場に立つこと、態度、反省すること、注意をしようと思えます。(事務)

- ・信頼関係が大事だと改めて感じました。私自身、言葉づかいや、応態など完璧にはできていないので、これを機に気をつけてもっと信頼関係が築けるようにしたいです。(事務)
- ・自分の中でできていると思ったり、間違っていると思ったり、いろんなことに気付いて勉強になったし、油谷先生のお話も楽しかったです。(看護師)
- ・いくらコンディションが悪くても患者様に対し最低限のことが出来る：プロ意識を持つて頑張ります。(受付)
- ・基本的な動作や対応の方法を、説明だけでなく実際に行ってみることで、具体的に理解することができてよかった。先生のお話は聞き取りやすく、とても勉強になった。(看護師)

十五人が参加。質疑応答も活発に行われた



淡路支部は六月四日にホテル夢海游淡路島で、臨床談話会「DPP-4への期待と実際」を開催、十五人が参加した。講師は高槻赤十字病院糖尿病・内分泌・生活習慣病科部長の金子至寿佳先生、座長は菱川内科クリニック(洲本市)の菱川留王先生が務めた。(次号に感想文を掲載)

臨床談話会

## 「DPP-4への期待と実際」

### インターネットで保険医協会へアクセス!!



★情報満載! 兵庫県保険医協会ホームページ

<http://www.hhk.jp/>

★会員専用のメーリングリストを開設しております。  
登録いただける方は下記までお知らせください。

e-mail: hyogo-hok@doc-net.or.jp

### 投稿を募集しています!!

支部ニュースへの投稿を募集しています。日常の診療にかかわることや主張など、テーマは問いません。地域色豊かな話題を淡路の会員の先生方で交流したいと思います。医科・歯科連携のアイデアなど、お寄せください。

【FAX】 078-393-1802

【E-mail】 kusunoki@doc-net.or.jp

淡路支部担当 楠 まで

